都道府県と市町村が連携したＤＸ推進体制の構築に向けた

**別添３**

デジタル人材確保プロジェクト　応募書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 都道府県名 | | |  |
| 担当部局課室 | | |  |
| 責任者名（よみがな）／役職 | | |  |
| 担当者名（よみがな）／役職 | | |  |
| 電話番号（代表・直通） | | |  |
| メールアドレス | | |  |
| 現在の取組 | | | |
| ▷　都道府県と市町村が連携したＤＸ推進体制の構築やその中での人材プール機能の確保に係る現状及び取組について記載してください。  **（※）現在の取組については、既存資料でも可能です。**  （記載例）  【概要】  推進体制の４つの機能とその取組状況は以下のとおり。  １．県と市町村の連携の構築  →　県と全市町村の首長が参加する会議体を設けており、その中でＤＸに関する議論を行っている。  ２．市町村の状況把握  →　年に１回全市町村に訪問の上、ヒアリングを実施。また、チャットツールを設け、日常的に相談・議論が気軽にできるような環境を設定  ３．専門人材の確保（人材プール）  →　民間から転職した人材を１名確保している。加えて、業務委託も実施（おおよそ３名程度がコミット）。  ４．連携して取り組むテーマの設定  →　システムの共同調達をテーマとして設定。  【詳細】  　○　令和●年以降、～～計画に位置付け、取組を推進。  　○　～～～～～～～～～～～。 | | | |
| 支援を希望するステップ | 該当の有無  （「○」を付けてください。） | 支援を必要とする内容 | |
| ステップ１  管内市町村の課題の洗い出し・深堀 | ○ | （記載例）  ○　今年度から着手し始めたばかりで市町村に対し、どのようにヒアリングを進めていけばよいのかが分からない。  ○　一度ヒアリングを実施したものの、リソースが足りておらず、深堀りができていない。 | |
| ステップ２  人材像・業務の明確化 | ○ | ○　市町村が抱える課題は分かっているものの、どの程度のレベルの人材にどのような仕事をしてもらうことが妥当なのかが分からない。 | |
| ステップ３  人材確保方法の検討（雇用・業務委託等） | ○ | ○　明確化した人材像に基づき、どのような形態で人材を確保していくことが適切なのかが分からない。  ○　市町村のニーズが、機運醸成から具体の事務の支援まで様々であり、人材を絞り込むことが困難。 | |
| ステップ４  採用工程・人材の管理体制の整理～人材の確保 | ○ | ○　都道府県のホームページ以外でどのように採用広告を打ち出していけばよいのかが分からず、転職サイトやスカウト型サービスの使い方が分からない。  ○　都道府県から市町村に対し、人材を派遣するに当たって、市町村側の受入体制を確保していくことが困難。  ○　確保した人材が自団体に定着してもらえるようなキャリアパスを提示することが困難。 | |

**（※）全ステップにおいて、人事・財政担当部局との連携が必要となるため、人事・財政担当部局との連携に課題を抱えている場合は、その旨も併せて記載してください。**

|  |
| --- |
| その他（特記事項・補足事項等があれば記載してください。） |
|  |